

問45 最後に、子ども・若者に対する支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子どもがいる家庭だけでなく、独身でも楽しめるイベントがあれば嬉しいです。

子供を出産後なかなか外にパッと買い物に出れないときに受けれる配達サービス

- ・子どもや若者で移動手段がない人たちのための何かしらのサポートがほしい
- ・結婚しててどちらかの実家で同居することになっても、収入等関係なく世帯主を変えられるようにしてほしい

下浅津もスクールバスを出すべき

町独自の子ども手当給付。第1子1.5万円、第2子3万円、第3子6万円。  
これだけ貰えると現状の国の子ども手当とあわせれば、3人子どもがいる場合15.5万円を毎月もらえる。こうなると共働き家庭のうちの片方の親は実質、働かなくてもよくなる。共働きだと家事育児の時間を考えると子どもは作れても1人か2人までと考えてしまうのはいたしかたないこと。出生率をあげるには産める家庭が3人以上子どもを作りたいと思える制度が必要だと考える。これくらいのことをやらないと出生率の改善は見込めないと思う。  
また、こうした制度は全国的にも前例がないため、大きな話題を呼び町全体のPRにもつながる。それにより、出生率向上以外にも波及効果が見込まれる。  
そういう意味では費用対効果は高い施策かと思う。

特になし

Q. どのような状況になったら子どもを持ちたいと思いますか？

A. 今の風潮をなくす

「少子化」はお金がかかるなどの問題ではなく今の日本全体の風潮のせいなのではないかと考えます。「親はちゃんとしてなきゃ駄目」的な風潮。

「お金がないから子どもを産めない」という家庭がないとは言いませんが、子どもを産んでる家庭はお金など関係なく産んでるように感じます。戦後の赤ちゃんブームが何よりの証拠です。

「人の親になることの難しさ」。それがインターネット・SNSなどで拡散されるようになったことで、子どもを産む・育てるハードルは上がり、もはや恐れるようになる若者が多くなった。それにより少子化は拡大しているのだと私は考えます。

少し古いですが「親ガチャ」などもその風潮の中で生まれた言葉ですよね。言っている若者のほとんどは被害者面。自分たちが加害者側(親)になる可能性なんて考えていない。なぜなら子どもを産めば自分も加害者側(親)になると思っているから。そういう風潮の中で生きている若者たちに「子育てしやすい環境をつくる支援してますよ。子ども産みませんか」なんて行政が言っても「ああ、そう。産みません」と返されて終わってしまう。なら今本当にするべきなのはその風潮をなくすことですよね。

長々と書きましたが最後に。あくまで主観なので真相はわかりませんが、若者の私から見てもこの風潮は少なからず存在し、少子化の原因の一つであると思っています。とはいえ規模が大きすぎるのでどうにかしろとは言いません。前問にあった「どのような状況になったら子どもを持ちたいと思いますか」という問いに私なりに詳しく答えただけです。参考になれば幸いです。

現在すでに家庭を持っている若者だけでなく、経済的な理由などで結婚できない若者に対する支援も積極的に行ってほしい。

今の少子化対策は、すでに生まれている子供やその親に対してのみの支援にとどまっており、根本的な少子化の対策にはなっていない。経済的な理由でまだ結婚していない方々や、子供がつかれずにいる家庭に対する積極的な支援を行い、結婚する若者の数を増やし、子供をもてる家庭の数を増やす事こそ、今最も必要とされる少子化対策であると考えます。

その為、自治体で出来る事は限られるとは思いますが、出来る限りの結婚支援と子育て支援を行っていく必要があると私は考えますし、湯梨浜町にもそれを強く要望します。

自営業をしていると休みもなく常に忙しい状態にある。でも湯梨浜町を活性化させるにはカフェなど商売をしている人がいないと賑やかにならない。自営業をしている家庭がもっと補助金などの支援を受けられて豊かな街づくりができるようにしてほしい。

若者の対象年齢が広すぎて回答しにくかったです。30代後半は若者に含めなくても良いのでは？

暑い日、雨の日でも子どもが遊べる場所の提供があるとありがたい。

子育て世帯への経済的支援として減税の施策を実施してほしい。

室内の遊び場が少ない。北条道の駅のようなところを作ってほしい。

子供たちが遊べる場所を田後にも作ってもらいたい。ボール遊びができる場所が少ない。団地が増えて、子供が増えても、学校やあそび場からも距離があり、非常に不便。子どもが快適に過ごせる場所の整備をしてしてください。このアンケートに答えて良かったと思える支援をしてください。

学校でのいじめの問題を真剣に考えてほしい。うやむやにしないでほしい。今でもいじめにあって苦しんでいる人たちがいることをわかってほしい。学校はいじめの問題を隠す体質がある。いじめは犯罪です。被害者の一生をつぶしてしまいます。なのに、加害者はのうのうと生きています。初期の段階でいじめの芽を摘んでくれたら、被害にあった子の人生は変わっていたと思います。

はっきり言って、この場所から引っ越しをしたい。

子供や若者に対する支援は重要ですが、そのために高齢者層との分断をあおるような方向にはいけません。

既に取り組んでいると思うが、移住定住を促進していただきたい。目標を定めてがんばっていただきたい。

地区、地域の役が多く（人口減少、若者世帯の少数化、少子高齢化）、若者に役が重複してまわってくることが負担大。地区のイベント準備や運営が大変。

経済的困難者等の支援だけでなく、若者が住みたいと思えるように、泊・東郷にも支援をするべき。羽合がなぜ人が集まるのかは、住みやすい（スーパー含め整っているから）だと思う。事業が人が少なくても維持できる支援をしてくれれば、利便性がよくなり、人口増加につながると思う。

湯梨浜町は子育てしやすい町と言われているようだが、生まれてからずっと町内在住しているが、全く感じない、また、手当等あっても、結局対象にならないなどで、何も手当受けられないということが多い。町内で移住者が増えているが、遊び場が少ない。複合施設を作してほしい。

若者が職場で受けるハラスメントについて、もっと積極的に相談・解決ができるようになってほしい。私は、以前の職場でずっと一年間パワハラを受け続けていたが、行政はまったく役に立ってはいなかった。トラウマを持つようになり、毎日そのことをフラッシュバックして苦しいが、それは行政が私の心に寄り添うことをせずに見捨てたせいです。あなた方には、社会をよくする力はありません。

- ・ 保育士が少なく待機児童がいることは改善すべき。兄弟で異なる保育園に行くことなんて難しい。送迎してください。
- ・ 小学生の人数のかたよりにて、教員が生徒をみきれていないのでは？と感じる。
- ・ 保育園の遊具をつかえるものに変更が必要。素材によって暑くて使用不可？熱を持たない素材に代えましょう。

同年代や自分より下の年代の人たちのこどもさんたちが不登校になっていることを時々聞くので、家庭に問題を抱えている子どもが孤立しないよう、地域と連携した見守り体制を整えた方がいいと思う。不登校や引きこもりの増加やSNSやネット依存などのデジタル環境への不安がある。支援制度があるにもかかわらず、当事者に届いていないことが多いと思う。また相談先が限られていて、支援が一時的で継続性に欠ける。本人や保護者が孤立しがちだと思う。

倉吉市よりも子供の数が増えているのに、医療機関・複合施設等が少ない。保育園もまた増えるそうだが、それに見合った病院があると助かる。また温泉や宿泊に力を入れ観光もあるが、そこで働く人を増やすためには土日も預けられる保育園も近くにないと子育て世帯には働く場所も限られてくる。無料で子どもを遊ばせることのできるスポットが少ない。雨の日でも集えるようなところがあると親子ともに助かる。複合施設等（イオン、コストコ等や駐車場一体のショッピングモールのような）経済も循環出来て潤うような場所をつくっていくとずっと住みやすくなると思う。今のままではただ人口が増えるだけで住みにくいです。住むのは中部でお出かけは東部や西部に行かないとあまり何もないと感じます。とても良い所なので、もっともっと良くなると思う町だと思えます。

真夏や真冬など季節を気にすることなく、子どもがすくすく遊べる施設が欲しい（有料でもOK）子どもも大人も楽しめるイベントの開催。義務教育中の給食費の無償化。湯梨浜町役場子育て支援課の対応改善。保育園を増やして未満児がすぐ入れるように対策してほしい。病児保育を増やしてほしい。

自習スペースを増やしてほしいです。